

令和 8 年度第 1 回 消防用設備等の点検業務のデジタル化の取り組み等に関する検討部会 議事要旨

1 日時

令和 8 年 9 月 16 日（水）14 時 30 分から 15 時 30 分まで

2 場所

日本消防会館 11 階 大会議室
東京都港区虎ノ門 2 丁目 9 - 1 6

3 出席者

(1) 委員

細川委員長、蔭山委員、川村委員、前田委員、小野委員、鈴木（文）委員、鈴木（康）委員、橋爪委員、舟山委員、三宅委員、北野委員、山崎委員

(2) 事務局

消防庁 宮本予防課長、明田設備専門官、加藤係長、尾坂事務官、山口事務官
日本消防設備安全センター 手塚企画研究部長、瀬上企画研究課長、阿部調査役、三枝職員、櫻井調査役

4 配付資料

資料 1 令和 8 年度の検討趣旨等について（案）

資料 2 カメラによる遠隔点検に関する検証について（案）

参考資料 1 消防用設備等点検報告制度と点検のデジタル化に向けた取組について

参考資料 2 令和 8 年度消防用設備等の点検業務のデジタル化の取組等に関する検討部会委員名簿

参考資料 3 令和 8 年度消防用設備等の点検業務のデジタル化の取組等に関する検討部会開催要綱

5 議事

- (1) 令和 8 年度の検討趣旨等について（案）
- (2) カメラによる遠隔点検に関する検証について（案）
- (3) その他

6 主な意見交換（○:委員、●:事務局）

(1) 令和 8 年度の検討趣旨等について（案）

○福岡市からの要望について、国家戦略特区のこういった枠組みに基づくものか、その背景のつながりを確認したい。

- 枠組みは把握していないが、国土交通省などの建設現場でライブによる遠隔検査が許容されている動向を踏まえ、事業展開の障壁となる部分の改善を求めたものと認識している。
- 目視点検だけを切り離して制度化しても、法定点検の一連の流れや作業環境が伴わなければ事業化はありえない。総合的な視点で検討してほしい。
- ご指摘の通り、点検業務には目視だけでなく操作を伴う部分もある。検討事項 2 の無資格者の作業範囲等も含めて安全性を検証しつつ、しっかりと整理していきたい。
- 確実性等は検証の中で明らかになっていくと考えられる。

(2) カメラによる遠隔点検に関する検証について（案）

- 解像度や回線速度を検討する際、受信側がスマートフォン、PC やタブレットなのかによって、画面の大きさと画質の評価が変わるはずだが、前提条件はどうするのか。また、実際に運用していく上では、来年度検討する「点検補助員の作業範囲」が極めて重要である。運用も併せて示されるべきである
- スマートフォン、タブレット、PC 等、受信側のデバイスによる見え方の違いも考慮して条件を検討する。将来的な運用を見据え、補助員の作業範囲や操作を伴う部分についても段階的に整理していく。
- 次の検討会までに検証が行われるとのことだが、これは消防庁独自で行うのか、専門の事業者が行うのか。例えば、十分な知識のない者が、安全配慮が欠けた状態で消火器を触ると、誤放射のリスクがある。知識面や安全面をどう盛り込むのか聞きたい。
- 実際の点検に携わる設備事業者の協力を得て、知識が十分でない者を想定した検証や、有識者による効率的な検証の双方を視野に入れている。
安全面に配慮して実施することを検討している。
- 自動火災報知設備の点検では、連動停止などの手順を誤ると事故になるケースもある。カメラで撮影するだけなら良いが、受信機の操作まで無資格者にさせるとなると事故の可能性も考えられるため、慎重な検討が必要である。
- 自動火災報知設備の点検においても、外観だけでなく操作を伴うため、まずは、目視の部分を整理し、そして、操作が伴う部分をどこまで許容できるか 2 段階で検討していきたい。
- 現地で作業する無資格者と遠隔にいる有資格者は、同じ立場のペアとして一緒に点検を行うという理解でよいか。最終的に遠隔の有資格者が判断をするための情報を示すという位置づけになるのか。
- ご理解の通りである。最終的な判断は遠隔地にいる有資格者が適切に行い、点検報告書に記載する仕組みとなる。
- 人間工学的観点から、現地でカメラを操作する無資格者は点検の危険性や知識を有していない可能性がある。遠隔者とのコミュニケーションに注意が向きすぎて視野が狭くなり、周囲の段差等による転倒・転落リスクが懸念されるため、安全性も評価基

準に含めるべきである。また、カメラの画質が良いと書類等の個人情報まで映り込んでしまう懸念があるため、運用上の注意点も併せて検討してほしい。

○消防本部でも試験等で同様の遠隔手法を試しているが、地下や屋内で電波が届かず映像が途切れるという課題がある。可能であれば、ポケット WiFi だけでなく、カメラとスマートフォンを Type-C 等の長めの有線ケーブルで接続した場合の検証も組み入れるとよいのではないか。

○カメラの解像度等に関連し、小さな文字を見たいのか、ホースの割れや錆を見たいのかによって必要な画質が異なるため、何を確認するための点検なのか目的を明確にして要件を決めるべきである。

(3) その他

○追加意見がある場合、メールで事務局へ連絡いただきたい。

以上